

平成 28 年度 事業経過報告

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

当会は昭和 3 年 4 月 2 日に社団法人大日本陰陽会を設立許可(民法第 34 条 水野文太郎文部大臣)され、昭和 17 年社団法人日本易道会と改称、昭和 24 年社団法人日本易学会と改称、昭和 33 年 4 月 22 日定款の一部変更とともに社団法人日本易学連合会と改称するという経過をもち、今年で社団法人設立から 89 年を迎えます。

平成 25 年 4 月 1 日公益社団法人設立となりました。平成 28 年度も公益認定に相応しく社会の信用・信頼に応える法人として、より広く門戸を開き公益性を取り入れた研修会、講演会、連続講座、講習会、鑑定会《ボランティア、チャリティ含む》、寄付金増額、当会への認知度向上等を計画し、活動してきました。また、懇親会は講師の先生や会員相互の交流を図る目的で開催しました。

定款第 2 章/第 4 条及び第 5 条に則り、下記の事業概要を報告します。

1. 本部研修会・本部講演会等の開催

公益社団法人としての自覚を持ち、社会の信用・信頼・奉仕に応えるため、より広く門戸を開くことを心がけました。本部では、各種研修会・講演会を企画・運営し、会員の知識や人格向上を図りました。さらに、多くの人々に易学とそれに関わる学問の良さを知らしめ、幸せな人生が送れることを願い、それを目的とし、各地において研修会・講演会を開催致しました。研修会等の後に行われる懇親会は会員相互の知識と情報の交換、参加者の交流を目的としました。

1. 本部 慰霊祭時講演会

期 日 平成 28 年 10 月 11 日(火)

場 所 真言宗豊山派大本山護国寺大本堂・桂昌殿 東京都文京区大塚

講 師 寒川神社 中西正史権禰宜

演 題 寒川神社の近代——八方除け信仰を中心に——

出 席 者 会員 94 名

主 旨 全国より護国寺に集まった会員が先師先哲の方々への慰霊と感謝を捧げ、自らの一年間の行為を省み、会の歴史を学ぶことができた。また、寒川神社の中西正史権禰宜の講演では、寒川神社の発展史を学ぶことができた。また八方除け信仰がどのように形成されたのかを知ることができた。

2. 本部 シンポジウム

タイトル 第 4 回シンポジウム

期 日 平成 28 年 7 月 3 日(日)

場 所 大阪大学 豊中キャンパス 大阪大学会館

講 師 湯浅邦弘(大阪大学大学院教授)

斎藤治(ジャーナリスト・関西日本香港協会理事)

宮崎耕策(大阪文具工業連盟常任理事・国際委員長)

演 題 孫子の兵法を語る

出 席 者 会員 113 名 一般 32 名 計 145 名

主 旨 易学を学問として定着させるため、国立大阪大学の教授を招聘してシンポジウムを行った。会場は国立大阪大学の豊中キャンパス大阪大学会館を使用し、国立大阪大学 21 世紀懐徳堂との共催により日易連の社会からの認知度を高めることができた。鑑定士に関心の高い孫子の兵法を学術テーマにした。また現代の経営学の専門家も討論者に加え、孫子の兵法を現代の経営学に活かすためのシンポジウムを行った。

2. 支部報告会・研修会・講演会・講習会等の開催

公益社団法人としての自覚を持ち、社会の信用・信頼・奉仕に応えるため、より広く門戸を開くことを心がけ、支部では、研修会、講演会、連続講座、講習会を企画・運営し、会員の知識や人格向上を図ります。

さらに、多くの人々に易学とそれに関わる学問の良さを知らしめ、幸せな人生が送れることを願い、それを目的とし、各地において開催いたしました。

1. 北海道支部

① タイトル 報告会・研修会・懇親会
期 日 平成 28 年 4 月 17 日 (日)
場 所 ネストホテル札幌駅前
講 師 フォーチュン耀子先生
演 題 鑑定現場におけるカウンセリング
出 席 者 会員 13 名 一般 1 名 計 14 名
内 容 平成 27 年度北海道支部の事業報告・収支報告並びに平成 28 年度の事業計画・予算案の説明と質疑応答がなされ、鑑定会開催や核になる拠点が欲しい等の意見が出た。研修会は、鑑定士の心得やクライアントの心情を理解し希望の持てる助言方法を学習した。懇親会では、楽しい雰囲気の中 情報交換ができた。

② タイトル 夏季研修会
期 日 平成 28 年 6 月 19 日 (日)
場 所 ネストホテル札幌駅前
講 師 松本哲生理事
演 題 干支九星の占い方
出 席 者 会員 12 名 一般 11 名 計 23 名
内 容 干支九星を初めて学ぶ方にも 理解できるよう、天干、地支、遁行をはじめとする基礎学問を中心に学習した。その後、社会でおきた事件をいくつか出し説明。干支九星に興味を持つ きっかけになった。

③ タイトル 秋季研修会
期 日 平成 28 年 10 月 23 日 (日)
場 所 ネストホテル札幌駅前
講 師 大西象允先生
演 題 やさしい実践を通しての五行易
出 席 者 会員 10 名 一般 11 名 計 21 名
内 容 前半に五行易の基礎となる六親五類の意味、旺相休囚、用神と原神や忌神の関係、卦の求め方を学んだ。後半は五行易で鑑定した実践例を数例あげ、理論的に吉凶判断の解説があった。初めて参加された方でも理解できる説明で、これにより五行易を学ぶ人口が増えれば良いと思う。

④ タイトル 冬季研修会
期 日 平成 29 年 1 月 22 日 (日)
場 所 ネストホテル札幌駅前
講 師 中村名象先生
演 題 四柱推命の応用
出 席 者 会員 8 名 一般 2 名 計 10 名
内 容 冬季研修会をと望む声を入れ、今年度より新たに計画した研修会であったが、厳しい天候の為、少人数参加となってしまったが、学習意欲は盛んである。季節と暦、十干を大切にした殷王朝を中心にした四柱推命の歴史、1 年の始まりは冬至とする考え方
と
立春とする考え方で、出す命式など大変興味深い内容であった。

2. 東京支部

① タイトル 講習会
期 日 平成 28 年 4 月 7 日 (木) から 月 1 回 (第 1 木曜日) 平成 29 年 3 月まで全 12 回

場 所 日易連 318 号室
講 師 岸浦光倫先生
演 題 タロット初級 大アルカナ
出 席 者 延べ人数 計 12 名
内 容 タロットカードを、一枚一枚丁寧に説明し、歴史とか色彩の重要性等 詳しく知りタ
ロットを通して運勢等を知る勉強をした。
※一人だけの参加もあり、10月までの授業となりました。

- ② タイトル 講習会
期 日 平成 28 年 4 月 8 日 (金) から 月 1 回 (第 2 金曜日) 平成 29 年 3 月まで全 12 回
場 所 日易連 318 号室
講 師 野村周石庶務理事
演 題 周易の中級
出 席 者 会員 5 名 計 5 名
主 旨 『易経』の卦辞や爻辞を味わいながら、占筮の醍醐味を学びました。略筮法と中筮法
の操作と読解などを学びました。
- ③ タイトル 講習会
期 日 平成 28 年 4 月 12 日 (火) から 月 1 回 (第 2 火曜日) 12 月まで全 9 回
場 所 日易連 318 号室
講 師 野村周石庶務理事
演 題 周易の基礎
出 席 者 会員 1 名 一般 3 名 計 4 名
主 旨 兆しを的確に示してくれる周易の素晴らしさを味わいながら周易の基礎を学びました。
- ④ タイトル 報告会・研修会
期 日 平成 28 年 4 月 23 日 (土)
場 所 神田神社 (神田明神)
講 師 岸川雅範 神田神社権禰宜
演 題 神道への招待
出 席 者 会員 55 名 一般 1 名 計 56 名
内 容 日和の穏やかな神田神社で東京支部の会員も晴れやかに報告会に臨みました。岸川雅
範権禰宜の研修会「神道への招待」はお祭りに関する話で、作法等どのように神社と向
き合っていくかの話を聞くことが出来、孫や子に伝えていかななくてはならないと思っ
た一日でした。
- ⑤ タイトル 講習会
期 日 平成 28 年 4 月 28 日 (木) から 月 1 回 (第 4 木曜日) 12 月まで 全 9 回
場 所 日易連 318 号室
講 師 有邑佳峰参事
演 題 算命学基礎科
出 席 者 会員 3 名 計 3 名
主 旨 鑑定に役立つ算命学の初歩を講義します。
※4 月は実施したが、諸事情により中止となりました。
- ⑥ タイトル 研修会
期 日 平成 28 年 6 月 7 日 (火)
場 所 豊島区民センター
講 師 藤懸庚汪専務理事
演 題 心理学「職業鑑定の為のコミュニケーションスキル」

出席者 会員 32名 計 32名
内 容 質問事項により A～D まで区分し、またその複合型に分けるという作業で、参加者の興味を引き、具体的に車の車種に分ける等楽しさ面白さがありました。職業鑑定というより、コミュニケーションの分析が大きいのかなと感じました。

- ⑦ タイトル セミナー
期 日 平成 28 年 8 月 23 日 (火)
場 所 豊島区民センター
講 師 川元彩舟監事
演 題 人相の基本
出席者 会員 18名 その他 2名 計 20名
内 容 人相の基礎をもとに、易経を取り入れたり、講師の様々な経験、体験からの話がありました。多くの会員から、「楽しかった。また開催して欲しい」等の要望がありました。
- ⑧ タイトル 秋季研修会・日帰りバス旅行
期 日 平成 28 年 9 月 13 日 (火)
場 所 房総巡り (安房神社・天津神社)
講 師 安房神社・天津神社宮司
演 題 安房神社の由来・天津神社の由来と千葉とのかかわり
出席者 会員 30名 その他 2名 計 32名
内 容 お天気に恵まれ、楽しく和やかな時を共有でき 会員一同楽しく過しました。
- ⑨ タイトル セミナー 西洋占星術
期 日 平成 28 年 11 月 1 日 (火)
場 所 池袋生活産業プラザ
講 師 岸浦光侖先生
演 題 西洋占星術マンデーン、来年の日本の運勢と周りの国々
出席者 会員 15名 友の会 1名 一般 2名 計 18名
内 容 日本の政治・経済・金融と、海外の国は大統領・首相の生年月日で見て占った。大変興味深い内容でした。
- ⑩ タイトル セミナー 九星気学
期 日 平成 28 年 12 月 8 日 (木)
場 所 池袋生活産業プラザ
講 師 仁科朱陽会計理事
演 題 気学九気星で読む、2017 年の日本の情勢と世界
出席者 会員 16名 友の会 1名 一般 6名 計 23名
内 容 九星気学による来年度の 1 白～9 紫までの運勢を学び、アメリカ・ロシア・韓国の情勢を教えて頂きました。
- ⑪ タイトル 連続講座・六壬神課学
期 日 平成 29 年 1 月 11 日、2 月 8 日 2 回
場 所 池袋生活産業プラザ
講 師 櫻井健勝先生
演 題 六壬神課学・宇宙と時間にクロスする世界
出席者 会員 16名 一般 3名 計 19名
内 容 六壬神課学は、関西地区では結構 勉強会もあるようだが、関東地区は中々ないので、どんなものか、知る為に事業計画に取り入れました。実際もかなり難しく数回の講座ではとてもわかる学問ではないという事がわかりました。断易にも共通するものがあるようですが、また、一から見直し再度チャレンジ出来たらと期待したいと思っております。

⑫ タイトル 新年会・講演会
期 日 平成 29 年 2 月 4 日 (土)
場 所 明治記念館 紅梅の間
講 師 松本文明元内閣府副大臣挨拶・年運 上島慶晃副理事長
出席者 会員 47 名 一般 1 名 計 48 名
内 容 公益社団法人の説明が詳しくされて、会員の自覚を促し、思った以上の反応でした。今年の運勢はどうなるか新会員には新鮮だった。懇親会では盛り上がり楽しく和やかに過ごせました。

⑬ タイトル ボランティア鑑定会
期 日 平成 29 年 3 月 4 日 (土) ~ 3 月 5 日 (日)
場 所 東京都障害者福祉会館 (港区三田)
演 題 「第 46 回耳の日記念文化祭」
出席者 認定鑑定士 33 名
内 容 公益として社会に貢献できることを喜び、ご来場くださる皆様の明日が希望にみち、やる気に溢れた日々となるように頑張りました。ベテランの先生方に大勢参加頂き又、お天気も良くスタッフも様々な工夫をして努力して頂いたので、多くの来場者 (358 名) にも恵まれ過去最高となりました。

3. 中部支部

① タイトル 報告会・春季研修会
期 日 平成 28 年 4 月 23 日 (土)
場 所 名古屋ウインクあいち
講 師 藤懸庚汪専務理事
演 題 職業鑑定のためのコミュニケーションスキル
出席者 会員 22 名 一般 11 名 計 33 名
内 容 平成 27 年度事業経過報告、収支報告をし、28 年度 事業計画案、収支案の報告後、新役員の紹介を致しました。また研修会では、「ハーマンモデル」を基に、脳を四つのタイプに分け、個人の思考行動特性を知ること、個人の能力向上や組織の適材適所に役立てることが出来る学びは職業鑑定においても広く活用出来る内容でした。

② タイトル 夏季研修会
期 日 平成 28 年 7 月 16 日 (土)
場 所 名古屋ウインクあいち
講 師 大仏竜鳳おおさか副支部長
演 題 「手相」～病気のサイン～
出席者 会員 28 名 一般 15 名 計 43 名
内 容 手相の中でも、テーマを病気にスポットを当て「病気のサイン」について実写真を基に講話して頂きました。病気の予兆として、どこの丘、線に気色や種線のしるしが出ているかによって判断する観方は大変役に立ちました。また、実写真を見ることで視覚からも学べたことは占術の力になることでしょう。

③ タイトル 秋季研修会
期 日 平成 28 年 10 月 15 日 (土)
場 所 名古屋ウインクあいち
講 師 泰志龍 京都府易道協同組合理事長
演 題 周易に学ぶ生き方の哲学～陰陽が導く人生のみちしるべ パートⅡ～
出席者 会員 21 名 友の会 1 名 一般 7 名 計 29 名
内 容 昨年に続き、周易に学ぶ 生き方の哲学～パートⅡ～として易の基礎である太極から八掛のキーワードを学びました。八掛の読み解く方法として、八掛の意味の組み合わせ、算木の形でみる。漢字の意味でみる等の解説は、とても理解し易いものでした。

難解な易を親しみやすい方法で教えて頂けたことは大変良かったと思います。

- ④ タイトル 新春研修会
期 日 平成 29 年 1 月 21 日 (土)
場 所 名古屋ウイंकあいち
講 師 中條泰彦先生
演 題 平成 29 年の大勢を読む
出 席 者 会員 25 名 友の会 2 名 一般 8 名 計 35 名
主 旨 易経を読むには、直感が大切であると言う。易経卦辞の「卦」の形を判断し、卦辞は原文を読むのが一番であり、加えて五行易も見れば、より深く解くことが出来ると教えて頂きました。また、「易占いから見た世相」を私見から解説して頂いたことは大変役に立つ学びとなりました。

4. 京滋支部

- ① タイトル 報告会・春季研修会・懇親会
期 日 平成 28 年 4 月 10 日 (日)
場 所 京都新都ホテル
講 師 文屋圭雲顧問
演 題 生まれた日による特徴・運の強弱
出 席 者 会員 45 名 計 45 名
内 容 報告会では、平成 27 年度事業報告・決算報告、平成 28 年度事業計画・予算案等の報告。研修会では、当会顧問の文屋先生を講師に招き、生まれた日によっての特徴や性格の違いをわかりやすくご講義頂きました。
懇親会では、文屋顧問・北野天満宮の加藤権宮司・他支部の先生も交えての交流を行いました。

- ② タイトル 講習会
期 日 平成 28 年 5 月～平成 29 年 2 月まで 2 ヶ月に 1 回
場 所 京滋支部
講 師 岩田有玄先生・松村佳扇先生・夏欄先生
演 題 占術について等
出 席 者 会員 各 3～7 名 計 20 名
内 容 主に当支部会員の為の講習会を 2 ヶ月に 1 回開催。会員の技量の向上をはかった。

- ③ タイトル 秋季研修会
期 日 平成 28 年 10 月 30 日 (日)
場 所 キャンパスプラザ京都
講 師 岩田有玄先生
演 題 順に生きる
出 席 者 会員 44 名 計 44 名
内 容 秋季研修会は、毎回当支部の会員が講師となり行っております。今回は、京滋支部の岩田有玄先生に「順に生きる」と題して講演頂きました。人の生きる流れ、順と逆など、易・四柱・九星などを交えた講義をして頂きました。

- ④ タイトル 冬季研修会
期 日 平成 29 年 2 月 12 日 (日)
場 所 京都新都ホテル
講 師 金寄泰衍 風水環境システム研究所所長
演 題 風水 氣の見方と仕組み
出 席 者 会員 49 名 一般 3 名 計 52 名
内 容 いつも冬季研修会は、他支部の先生等に講師をお願いし、普段ふれない占術を習っている。今回は、風水の第一人者である金寄先生に風水についての基本を教えた。鏡を使つての実験など、興味深い講演をして頂き、当支部の会員も大変勉強になった。

5. 近畿支部

- ① タイトル 報告会・春季研修会・懇親会
期 日 平成 28 年 4 月 17 日 (日)
場 所 大阪都島区太閤園 2 階
講 師 芹澤保道禅師 (神護山先聖寺住職 黄檗布教師会会長)
演 題 「日々是好日」
出 席 者 会員 55 名 一般 20 名 計 75 名
内 容 「日々是好日」の意味を講演終了後、全員が悟ったように思います。教育の大切さ、自由と言う言葉の誤った理解、自分に問うて学ぶ事。昔の寺子屋での学ぶ姿勢などをよく理解しました。四書 (大学・中庸・論語・孟子)。大学の三綱領、実現するための八条目の説明、坐禅から呼吸法まで、人を治め自己を修める大切さを学びました。
- ② タイトル 秋季研修会・懇親会
期 日 平成 28 年 10 月 2 日 (日)
場 所 大阪都島区太閤園 2 階会議室
講 師 藤懸庚汪専務理事
演 題 「職業鑑定のためのコミュニケーションスキル」
出 席 者 会員 52 名 一般 29 名 計 81 名
主 旨 人には本来「利き脳」と言うものがあり、人材育成、組織的に誰と組むか、誰の優秀な能力を有効に引き出し、企業、学術で効果を上げるか。気づき記入シートから A・

B・

C・D 4 つのタイプに分けて分析、説明があり、東洋の易学とは違った目線で自己分析。大変興味深く、もっと聞きたい内容でした。

- ③ タイトル ボランティア鑑定会
期 日 平成 28 年 10 月 23 日 (日) 11 時～15 時
場 所 大阪長居障害者スポーツセンター
主 催 公益社団法人聴力障害者協会
全大阪ろうあ者文化祭
出 席 者 鑑定士 5 名 世話役 2 名 計 7 名
主 旨 今年も 2000 人以上出席。占いコーナーも盛況。ベテランの先生と初めて参加の先生 2 名で、70 名の方々を鑑定致しました。キャッチコピーや開運のレシピを貼ったりし、終始なごやかに、手話の方々の応援もあり、明るい顔で皆さん出てこられました。

6. おおさか支部

- ① タイトル 報告会・研修会
期 日 平成 28 年 4 月 24 日 (日)
場 所 阪急ターミナルスクエア・17
講 師 上島慶晃副理事長
演 題 「干支九星気学 (日盤鑑定)」
出 席 者 会員 45 名 友の会 3 名 一般 3 名 計 51 名
内 容 干支九星気学を学び、具体的な例題に基づき、解説いただき、国際的な事例も学びました。
- ② タイトル 秋季研修会
期 日 平成 28 年 10 月 2 日 (日)
場 所 阪急ターミナルスクエア・17
講 師 心理カウンセラー鷲津秀樹 特定非営利活動法人日本次世代育成支援協会代表理事
演 題 深層心理と心の不思議
出 席 者 会員 41 名 友の会 2 名 一般 8 名 計 51 名
内 容 文章完成テストやバウムテストを実際に行い、深層心理を解明し、対処の仕方を学び

ました。現在のアダルト・チルドレンやネット依存症の問題を挙げて解説して頂きました。

- ③ タイトル 冬季研修会
期 日 平成 29 年 1 月 28 日 (土)
場 所 阪急ターミナルスクエア・17
講 師 釜平琳祥支部長・大仏竜鳳副支部長
演 題 平成 29 年度「人生とは流れにそう・逆らわない」「手相(キログノミー・キromanシーによる性格判断)」
出席者 会員 40 名 友の会 4 名 一般 11 名 計 55 名
内 容 平成 29 年度の歳運看法を学び、鑑定に参考になります。
西洋手相の手形学 (キログロミー) 掌紋学 (キromanシー) により、性格判断する方法を学びました。

7. 山陽支部

- ① タイトル 報告会・研修会・懇親会
期 日 平成 28 年 4 月 17 日 (日)
場 所 姫路市民会館
講 師 大仏竜鳳おおさか副支部長
演 題 周易 「爻之巻」
出席者 会員 29 名 一般 3 名 計 32 名
内 容 周易説卦伝より、「爻の成り立ち」「易は逆数なり」の説明から、様々な{爻}について学びました。会員に数字を聞いて、下卦・上卦を出して具体的に教えて頂きました。陰陽の爻をわかりやすく説明して頂き、休憩時間も質問が飛び交うくらい熱気の中、楽しく学びました。
- ② タイトル 秋季研修会
期 日 平成 28 年 11 月 13 日 (日)
場 所 アルセ
講 師 新宮有貴京滋支部参事
演 題 タロット「メジャーアルカナ・魂の成長の旅」
出席者 会員 14 名 一般 11 名 計 25 名
内 容 プロジェクターを使って大きくしてわかり易く、①大アルカナ 22 枚の物語 ②キーワード③正位置と逆位置 ④実践鑑定のコツなどを学びました。他の鑑定も大切な事を踏まえてカードが教えてくれるものを紹介していただきました。先生の実践鑑定の経験や会場の質問と、盛り上がりました。

3. 総務部・事業部

1. ① 平成 28 年度 入門課程修了証授与式、認定鑑定士章貸与式
期 日 平成 28 年 5 月 16 日 (月)
場 所 明治記念館 鳳凰の間 東京都港区元赤坂
出席者 会員 82 名
内 容 入門課程修了者に修了証の授与と、認定鑑定士章貸与者に認定鑑定士章の貸与が行われた。
- ② 第 88 回通常総会
期 日 平成 28 年 5 月 16 日 (月)
場 所 明治記念館 鳳凰の間 東京都港区元赤坂
出席者 会員 82 名 委任出席 355 名 計 437 名
内 容 平成 27 年度事業経過報告、平成 27 年度収支計算書、平成 27 年度財務諸表、監査報告、平成 28 年度事業計画 (案)、平成 28 年度予算 (案) の承認を得た。

③ 懇親会

期 日 平成 28 年 5 月 16 日 (月)
場 所 明治記念館 孔雀の間 東京都港区元赤坂
出席者 会員 56 名
主 旨 会員相互の知識と情報の交換、他会や外部顧問を含め、参加者間の交流を深めた。

2. 事業部 議員会館 講演会

① タイトル 議員会館 講演会

期 日 平成 28 年 4 月 22 日 (金)
場 所 衆議院第 1 議員会館 地下 1 階第 4 会議室
講 師 ①井上湖悠副理事長 ②藤懸庚汪専務理事
演 題 ①断易 ②陰陽道の歴史と暦 (2)
出席者 議員・秘書 5 名 会員 13 名 一般 19 名 計 37 名
主 旨 易学を議員・秘書に理解してもらうための講演会を行ない、将来的には易学を支援する議員連盟が結成できるよう運動を展開した。

② タイトル 議員会館 講演会

期 日 平成 28 年 9 月 20 日 (火)
場 所 衆議院第 1 議員会館 地下 1 階第 4 会議室
講 師 ①藤懸庚汪専務理事 ②野村周石庶務理事
演 題 ①陰陽道の歴史と暦 (3) ②易経と周易 (1)
出席者 議員・秘書 4 名 会員 16 名 一般 20 名 計 40 名
主 旨 同上

3. 事業部 小冊子

タイトル 日本易道タイムス増刊号小冊子販売と国立国会図書館への寄贈
期 日 毎年 4 月と 10 月の 2 回発行にあわせて販売、寄贈
場 所 原書房 鴨書店 中尾書店 国立国会図書館
主 旨 大学シンポジウムや研修会を通して講義された大学教授を中心とした易学に関する学術講演をディクテーション編集し、小冊子としたものを書店で販売した。また、販売するだけでなく、国会図書館や図書館に寄贈することによって、日易連の認知度を向上させることができた。この小冊子により、易学の学術化が進展され、一般社会に普及することができた。

4. 事業部 アサダセミナー

タイトル アサダオフィス主催 鑑定会
期 日 平成 28 年 5、7、11、平成 29 年 1、 の奇数月 計 4 回
場 所 取手市内 公共施設
鑑 定 士 日易連認定鑑定士
主 旨 毎日を明るく、楽しく、健康に過ごす為の知恵を学ぶ会を実施した。毎回、十数名を鑑定する鑑定会となり、大変に好評であった。平成 25 年から開始し、既に 4 年間継続しているセミナーとなった。

5. 事業部 占術団体との交流

占術団体として影響力のある組織である日本占術協会と東洋運勢学会との交流を深めることは、当会及び日本社会にとって意義あることと考え、それぞれ年 1 回の交流会を実施します。

- ① タイトル 日本占術協会・懇親会
 期 日 平成 28 年 6 月 12 日 (日)
 場 所 ホテルグランドパレス 東京都千代田区飯田橋
 出席者 当会より理事 5 名出席
- ② タイトル 日本占術協会・シンポジウム・懇親会
 期 日 平成 28 年 10 月 9 日 (日)
 場 所 北とぴあ 東京都北区
 出席者 当会より理事 5 名出席
- ③ タイトル 東洋運勢学会・懇親会
 期 日 平成 28 年 12 月 4 日 (日)
 場 所 ホテルグランドパレス 東京都千代田区飯田橋
 出席者 当会より理事 4 名出席

6. 事業部 検定試験

タイトル 一般向け易学・観相学検定試験の作成と実施
 期 日 平成 28 年 11 月 6 日 (日)
 場 所 試験会場 工学院大学新宿キャンパス 東京都新宿区西新宿
 受験者 11 名
 主 旨 易学・観相学検定試験を民間資格でなく、公的資格として文科省から認可を取得する目的のために実施した。昨年からは開始した易学検定試験を継続した。将来的には国家資格を目指す方向でいる。この検定試験を通し、易学と観相学を社会に普及する運動を展開することができた。

7. 本部 手帳

タイトル 「開運実占手帳」領布
 期 日 平成 28 年 8 月販売開始した。
 内 容 会員及び希望者に平成 29 年度版【開運実占手帳】領布
 鑑定に必要な東洋と西洋の易学の基礎知識を網羅した手帳。平成 29 年度版暦、周易(易経)、断易(五行易)、相学(人相・手相・家相)、気学(方位学)、四柱推命、算命学、姓名判断、奇門遁甲、納音の運勢、西洋占星術、タロット等
 主 旨 第8回目になる当会監修の手帳領布は、会員からの貴重な意見を取り入れ改良を重ね、より使いやすく見やすくなるよう 29 年度版も引き続き作成した。また、携帯に便利、かつこの一冊で鑑定や勉強に一年間利用可能と、易学図書専門書店からも好評を得た。

8. 本部 慰霊祭

- ① タイトル 陰陽道先師先哲慰霊祭
 期 日 平成 28 年 10 月 11 日 (火)
 場 所 真言宗豊山派大本山護国寺 東京都文京区大塚
 仏式・護国寺 本殿 (岡本貫首含め 15 名の僧侶にて読経)
 神式・護国寺境内慰霊碑前 (相模國一宮・寒川神社 禰宜、権禰宜により祝詞奏上)
 出席者 会員 94 名 ご遺族 5 名 計 99 名
 主 旨 全国より護国寺に集まった会員が先師先哲の方々への慰霊と感謝を捧げ、また自らの一年間の行為を省み、会の歴史も学んだ。
- ② タイトル 慰霊祭後の懇親会
 期 日 平成 28 年 10 月 11 日 (火)
 場 所 椿山荘 東京都文京区関口

出席者 会員 70名
主 旨 会員相互の知識と情報の交換、参加者の交流の場となった。

9. 本部 焼納祭

タイトル 第九回認定鑑定士章焼納奉告祭
期 日 平成28年11月16日(水)
場 所 相模國一宮・寒川神社本殿 神奈川県相模原市宮山
対象者 認定鑑定士章返納会員
出席者 会員(理事含む)7名
主 旨 会員の逝去、退会、雅号変更等により返却された認定鑑定士章(木札)に対し、感謝を込めてお焚き上げを行った。本年は、22枚の認定鑑定士章焼納奉告であった。

機 関 紙

機関紙を隔月(奇数月)に作成し、会員、友の会、他当会関係者に送付した。本部からのお知らせ、支部からのお知らせ、研修会予定、報告、月運、会員からの記事等を掲載した。また、4月、10月発行の「タイムス増刊号 小冊子」の記事選定、及び、校正、そして発送を行った。

組 織 部

会の運営や事業のすべてにかかわる部門ですので、本部と各理事・支部長・担当者等の間で事がスムーズに運ぶよう働きました。また、入退会希望者の書類受付・審査・理事会承認等の手続き全般に関する事をしました。

倫 理 部

規則と規律の中にこそ和と輪ができます。会員は、社会の一員として責任ある行動を取り、正直で恥じることなく、そして、社会に貢献できるよう心がけます。当会に所属する会員が倫理規程に違反するときは、会則に従って審議され処分を受けることとなります。倫理規程の制定目的は会員の倫理規範の向上にあります。

1. 会のホームページを毎月更新し、内容の見直しをした。
2. 広告掲載協力会員への啓発、及び、会費徴収連絡。
3. 会員のホームページを、倫理部規定に照らし、閲覧調査した。
4. インターネット広告等掲載規制細則を見直し、新たな細則案を理事会に提出。

鑑 定 士 部

当会には「入門課程修了証」と、資格付与としての「認定鑑定士章」という制度があり、会員はそれぞれに質の向上を計り、それを目指しています。いずれの取得に関しても試験や論文提出の義務があり、それを満たした会員に「入門課程修了証」は授与、「認定鑑定士章」は貸与の決まりがあります。会員が様々な理由で退会した時は、「認定鑑定士章」は返却されなければなりません。返却された「認定鑑定士章」は寒川神社で、焼納報告祭としてお焚き上げを行っています。また、木札と称されている「認定鑑定士章」は、昭和40年頃は文部省許可と記された経緯があります。

1. 本部 「認定鑑定士章」貸与式及び「入門課程修了証」授与式
期 日 平成28年5月16日(月)
場 所 明治記念館 東京都港区元赤坂
内 容 東西の試験日 3月25日(土)13時より同時に行われ、下記10名が合格した。
入門課程修了証授与者 9名
認定鑑定士章貸与者 1名 計10名

2. 本部 「認定鑑定士章」貸与式及び「入門課程修了証」授与式
期 日 平成 28 年 10 月 11 日 (月)
場 所 護国寺・桂昌殿 東京都文京区大塚
内 容 東西の試験日 9 月 10 日 (土) 13 時より同時に行われ、下記 7 名が合格した。
入門課程修了証授与者 5 名
認定鑑定士章貸与者 2 名 計 7 名
3. 本部 第 9 回 認定鑑定士章 焼納奉告祭
期 日 平成 28 年 11 月 16 日 (水) 13 時 30 分～
場 所 相模国一宮・寒川神社本殿
出 席 者 会員 7 名 計 7 名
内 容 鑑定士章お焚き上げ 22 枚

以上